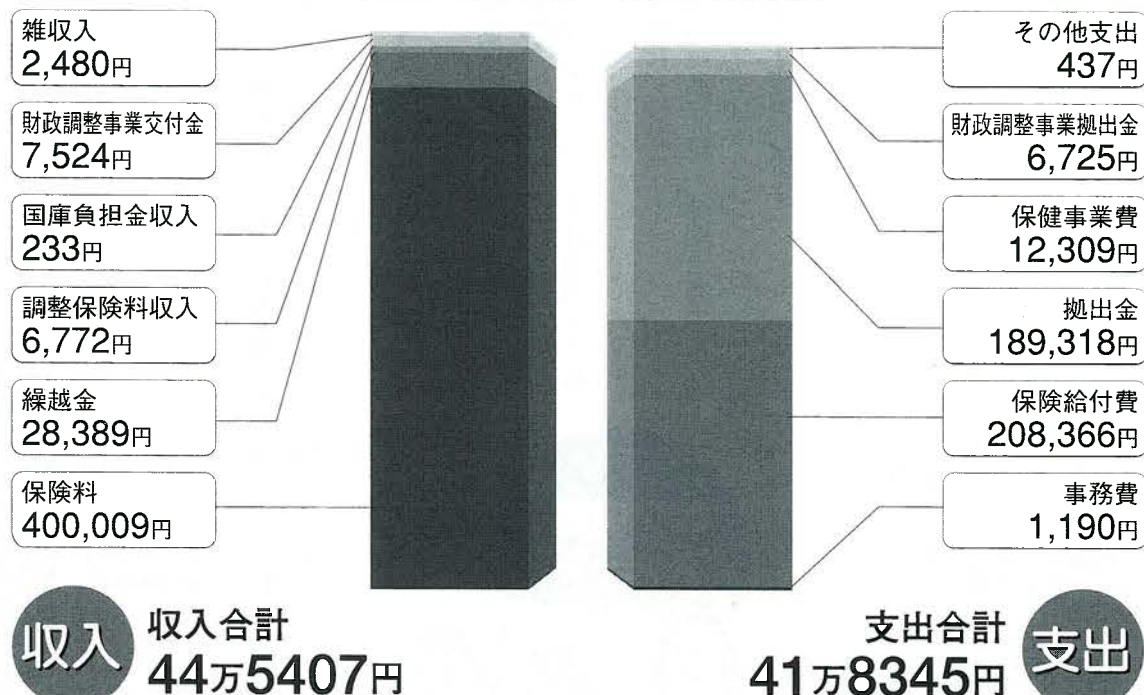


健康保険

収入		支出		現金処分	
科目	決算額(千円)	科目	決算額(千円)	処分項目	金額(千円)
保険料	2,818,065	事務費	8,386	別途積立金	29,715
国庫負担金収入	1,643	保険給付費	1,467,934	繰越金	160,622
調整保険料収入	47,706	拠出金	1,333,740	財政調整事業繰越金	312
繰越金	200,000	保健事業費	86,718	合計	190,649
財政調整事業交付金	53,006	財政調整事業拠出金	47,379		
雑収入	17,468	その他支出	3,082		
収入合計	3,137,888	支出合計	2,947,239		
経常収入	2,837,176	経常支出	2,899,841		
		収入支出差引額	190,649		
		経常収支差引額	-62,665		

1人あたりでみた平成19年度決算



介護保険

収入		支出		現金処分	
科目	決算額(千円)	1人あたり額(円)	科目	決算額(千円)	1人あたり額(円)
介護保険収入	230,891	74,989	介護納付金	235,444	76,468
繰越金	7,000	2,273	介護保険料還付金	146	47
収入合計	237,891	77,262	支出合計	235,590	76,515
			収支差引額	2,301	-

現金処分

処分項目	金額(千円)
準備金	1,800
繰越金	501
合計	2,301

平成19年度決算が承認されました

拠出金の大幅な増加により 経常収支6266万5千円の赤字に

当健保組合の平成19年度決算が、先に開催された組合会において可決・承認されましたので、その概要をご報告します。

健康保険

この数年、年間平均被保険者数は毎年10%近く増加してきましたが、19年度では1.4%の増加にとどまり、また、総標準費与額の減少もあり、保険料収入は前年度に比べて655万2千円減少し、収入総額で31億378万8千円となりました。

支出面では、みなさんの医療費などの給付に要した保険給付費が、前年度に比べて1105万4千円の増加となり、保険料収入の52.09%を占めています。

また、高齢者にかかる医療費への支援として支出した拠出金は、前年度に比べて2億3676万9千円もの大幅な増加となり、保険料収入に占

める割合では47.33%に上る負担となっています。

この結果、支出総額では前年度を大きく上回る29億4723万9千円となり、組合財政の健全性を示す経常収支差引額では6266万5千円の赤字決算となりました。

平成20年度財政は さらに厳しく...

先ごろ健保連が公表した平成20年度健保組合予算早期集計結果(全1502健保組合のうち86%にあたる1285組合の集計から推計)によると、20年度予算では高齢者医療制度の体系変更に伴う納付金(旧拠出金)の負担増によって、約9割の健保組合が赤字に転落する見通しであることがわかりました。健保組合全体の経常収支差引額は、過去最悪だった14年度の3999億円を大きく上回る6322億円に上る赤字が見込まれています。



介護保険

介護保険収入が前年度に比べて減少したものの、支出がほぼ予算どおりに推移したので、予算時に計上していた繰入金金を繰り入れることなく収支残金230万円を残すことができました。

平成19年度に実施した主な保健事業を紹介いたします

- ◆「健保だより」の発行(年2回)
- ◆育児書冊子の配布(随時)
- ◆高齢者に健康誌を配布(随時)
- ◆共同広報・健康開発共同事業(年間)
- ◆医療費のお知らせ(毎月)
- ◆ファミリー電話健康相談(年間)
- ◆メンタルヘルスカウンセリングの実施(年間)
- ◆高齢者健康相談を実施(随時)
- ◆高齢者に健康誌を配布(随時)
- ◆ホームページ公開(年間)
- ◆生活習慣病検診の実施(随時)
- ◆健診事後指導の実施
- ◆人間ドック受診補助(随時)
- ◆市町村健診受診者に補助(随時)
- ◆主婦健診(新規事業)

